

令和3年4月23日

ジーニアスに通塾中の皆様へ

中学受験専門塾ジーニアス

### 緊急事態宣言にかかわる運営や授業について

緊急事態宣言の発令が決定されました。今回の変異ウイルスの影響は深刻だと捉えておりますが、当面、**対面授業を継続**いたします。また、**5年生以下について、飲み物・ゼリー飲料を除く飲食は禁止**とさせていただきます。6年生の軽食休憩や、午前午後をまたぐ講座受講における軽食休憩の際の飲食は可能です。**マスク着用時以外の会話禁止を継続**します。

以下、具体的な対処方針です。

#### レギュラー授業について

##### 【理科・社会】

Zoom専用クラスの設置、4年生・5年生はオンライン動画配信、6年生はZoom授業を録画した授業を欠席者に配信しております。6年生向けの動画配信を強化し、既に撮影した白地図授業、5月以降のZoom授業の録画を学年別ページに公開します。

##### 【算数・国語】

GW明けより理科・社会に加え、緊急事態宣言中は算数・国語もZoom専用クラスを設置した上で、対面授業も行います。レギュラー授業における対面とZoomの併用（ハイブリッド式）は極力避けます。学校が全面的に休校となり、私どもの規模の塾にも休業要請が出された場合、算数・国語は全学年クラス別のZoom授業を少人数制で実施します。

#### G模試について

緊急事態宣言中のG模試はオンライン受験も可能とします。試験時間にZoomで参加し、各教科終了時にオンライン上で答案を提出。オンライン上で添削、返却をいたします。

#### GW特訓・単科講座について

6年生は対面授業または動画受講のいずれかを選択していただくことができます。動画受講の場合、記述問題はオンライン上で添削、返却をいたします。また、Zoomを活用した質問時間を別途設けます。5年生以下の講座は対面授業のみとなります。

#### 志望校別特訓について

対面授業またはZoom授業のいずれかを選択していただくことができます。開始直前にZoomに切り替えることも可能ですが、教材を取りに来ていただくこととなります。講座日の3日前よりお渡しができますので、該当者は自身で受け取りをお願いします。

以下は、オンライン上での取り組みについて私どもの考え方を記します。長文となりますが、興味がありましたらお読みください。

### 動画・Zoom について

制限がかかる状況下では有効なツールである一方、対面の方が指導効果は高いです。特に算数、国語についてはその傾向が強いと感じております。

まだ小学生ですから、自分で高い意識をもって勉強するほうが稀です。

集中力の観点、個別の状況を確認して授業を組み立てやすい観点から、やむを得ない場合を除き、算数・国語は対面授業にご参加いただいた方が望ましいです。

一方、理科・社会はオンラインを柔軟にご活用いただくとよいでしょう。ただし、まったく集中できないタイプの場合には、保護者の方が近くにいる必要があります。

なお、Zoom を活用した宿題チェックはページ数が複数の場合、非効率と感じています。昨年は外出が制限される状況であっても、宿題チェックと個別アドバイスのために短時間、希望制で通塾していただき距離をとって対応する時間を設けました。

対面と Zoom を併用した授業の場合、Zoom の方が受け取る情報の量、質が下がる傾向があります。特に学年が下がるほどその傾向が強いです。そこで Zoom の場合はできる限り、Zoom 専用クラスで運用したいと考えております。一方、志望校別特訓においては遠方の校舎に行く物理的な時間を考えて Zoom を選択するメリットも大きいこと、特訓すべてにおいて Zoom 専用クラスを用意できないことから併用としております。

昨年度を通じ、上位生は Zoom 選択による差はあまり感じられませんでしたし、どの方法でも適応力が高いと感じました。一方、たとえば基礎のクラスから難関校や上位校に合格したお子様は対面授業を選択した方ばかりでした。特に集中力を欠きやすい生徒に対しては対面指導が効果的でした。

私どもが平常授業において対面と Zoom の併用を積極的に行っていないのは上記の理由によるものです。体調不良時にシフトできるなど、どちらも気軽に選択できるようにすれば聞こえは良いのですが、内部生を伸ばすことを考えた際にはできる限り避けたい選択肢です。今後、新型コロナウイルス感染症の感染者となった、あるいは濃厚接触者になった場合など外出が物理的に不可能な場合においては、一時的にレギュラークラスの算数・国語も対面と Zoom を併用し、授業を受けられる機会を設けますが、常態化することは避けます。学校が全面的に休校となり、私どもの規模の塾にも休業要請が出された場合のみ、Zoom 専用クラスにするのはこのような理由からです。

### オンライン上の答案提出・添削について

昨年の緊急事態宣言中、答案をスキャンまたは撮影したものをメールで送ってもらい、講師はその答案をプリントアウトして、それを見ながら授業を行うという方法をとりました。

た。対面授業であれば講師が生徒の席をまわり、今どの問題を解いているかわかります。しかし、Zoom では、手元を映さないとわかりません。生徒が複数人だと容易ではなく、生徒の出来不出来がわからなくなってしまうのが、オンライン授業のマイナス面です。

そこで、メールで送ってもらった答案を見ながら授業を進め、対面授業に近い形で授業を行いました。特に6年生の算数や国語の入試演習では有効でした。

また、画面上で採点ができる「Apple Pencil」というツールを導入しております。

生徒から送ってもらった答案を印刷して採点し、Fax したりスキャンして送り返したりという手間が省け、スピーディーにオンライン上で添削をして、メールに添付する形で返信ができるようになりました。何より生徒側からの作業は写メで撮って指定のアドレスに送るだけという点が分かりやすいものでした。PDF 形式で送っていただければより効率よく採点も可能です。必要に迫られた場合には、この方法を採用します。なお、6年生の過去問の添削においても使用しております。

### 学校が休校（オンラインのみ）となった場合について

昨年は、6年生の算数のカリキュラムを1.5倍にして前倒しを行いました。同様の状況になった場合、通常より速いペースでカリキュラムを進める、オンライン上のツールを活用して復習を行うカリキュラムを策定するなど、時間を浪費することがないように配慮します。また、オンライン自習室を開設します。

保護者の皆様をお願いしたいことは、ゲームやYouTube、SNS等の利用を制限してほしい、そのルール作りをしてほしいということです。宿題が終わったらやってよいという形式では結果的に長時間、ゲームをしたり、YouTubeを視聴したりすることになります。最長でも1日1時間、2時間など厳しくないルールを決めて、厳守するようにお願いします。なお、ゲームではなく、YouTubeだから可とはしないでください。たとえばゲーム実況を見ている時間はゲームと同じです。また、オンライン上での周囲とのコミュニケーションの場であっても、長時間は避けてください。子どもは依存症になる前にゲームや動画に制限がかけられていて物理的に無理だと分かっているならば、自分から工夫して遊びを考えたり、本を読んだり、能動的なことをしてくれるものです。勉強の遅れの心配より、生活リズムを大きく狂わせてしまうことを避けよう意識していただければ幸いです。

オンライン上で活用できるものとして、学年別ページに公開中の6年・5年保護者会動画でも紹介しました「トライイット」があります。特に中学社会は、中学受験の社会と親和性があります。世界史分野を除く地理、公民の前半（憲法・国会・内閣・裁判所・地方自治など）はそのまま活用できます。無料会員登録後のページにて視聴できる最新版では、電子ホワイトボードが使われており、より効率的に学習できるようになりました。

### 情報発信について

Twitterを活用して情報発信を行います。ジーニアスのアカウントは@genius\_eastです。今後も各種案内や模試の結果速報、優秀答案の紹介などに活用します。